

お元気ですか

# つかじさちの



# メール便



日本共産党高知県議会活動報告

2020年 8月 30日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)

## ビキニ労災訴訟遺族陳述 「聞き取りもなく却下された」

### 社会保険審査会参与は 「不備」と指摘していた

7月31日、ビキニ労災訴訟の第一回口頭弁論が高知地裁で開かれ、遺族2人が陳述。



写真:夫の和馬さんの遺影を前にインタビューに答える原告の増本美保さん。(さんさんテレビより)

ひめ丸船員の増本和馬さんの妻美保さんは「被災後に追跡調査をしていれば労災認定はされたのでは」

と指摘。第七大丸機関士大黒藤兵衛さんの長女で原告団長の下本節子さんは「一度も申請者の聞き取りをせず、公開審理でも多くの参与がその不備を指摘」と、被爆当時だけでなく、今なお、被災者に背を向ける政府と保険協会の理不尽さを指摘しました。

## 被災船員への支援 県知事に要請

口頭弁論後、オテーピアに会場を移し報告会を実施。産問の吉良県議も

「この間、日弁連が初めてビキニ被災者救済への意見書を政府に提出、また、広島地裁で「黒い雨」訴訟全面勝訴と朗報が続き本訴訟の後押しとなる」と挨拶。

その後、県議会に移動、県知事宛ての被災船員救済要請書提出し、弁護団の大野弁護士が日弁連の意見書を手渡し趣旨紹介されました。

鎌倉健康政策部長は「シンポは来年度に皆さんの思いを汲める形で実施したい。」



紙芝居「ビキニの海のねがい」は市町村教委と連携し活用へ後押ししたい。資料館は検討していきたい。県ができる精一杯をやっていく」と対応しました。

尚、労災訴訟の原告に元船員6名が第2陣として参集！20名の原告、8名の弁護団で闘われます。

## お知らせ

コロナ対策や事業支援、国保・介護保険の減免など、お気軽にご相談！823-9524へ

# なるがも日記

No. 956

立秋は過ぎました。連日30度を超える暑い暑さの日々です。ようやく体調管理に心がけ、お気を付け下さいね。我が家は、多岐前までクーラーを設置しませんでした。一た、裏山からの自然の風も流れる水路の流いで何とかがのけていたのです。まさか、一晩中クーラーを動かせる日々が来るとは!? 温暑への真険な対応が大切ですね。